

# 令和4・5年度始良・伊佐地区研究協力校「学力向上：算数科」 始良市立錦江小学校研究公開

(令和5年11月28日公開)

## 1 研究主題

主体的に学習に取り組む子どもを育成する算数科学習指導の在り方  
～数学的な見方・考え方を働かせる数学的活動の工夫を通して～

## 2 研究発表

全体会 I では、研修係の三宅彩美教諭が研究発表を行いました。その中で、錦江小学校では、子どもたちの普段の算数科授業での受動的な姿や自分の考えを数学的に表現することに慣れていない姿などを踏まえ、「主体的に学習に取り組む子ども」の育成を目指し、数学的な見方・考え方を働かせる数学的活動の工夫について、取り組んだことが紹介されました。研究内容、具体的な取組は、以下のとおりです。



【研修係による研究発表】

- (1) 既習事項と結び付けて「問い」をもてるような学習課題提示の工夫
  - ・ 既習事項との共通点や違いが明確になるような学習課題の設定
- (2) 問題を解決するための方法や見通しをもたせる工夫
  - ・ 解決に向けた着眼点や方法の共有、選択
- (3) 既習事項と関連付けられるような自力解決の工夫
  - ・ 数学的表現を使って書く活動
  - ・ 算数コーナーへの既習事項の提示
  - ・ 自力解決へ導く対話活動
- (4) 自分の考えを友だちに説明したり表現したりする対話活動の充実
  - ・ ノートや具体物を使った対話
  - ・ 考えを比較検討する視点「はかせどん」に向かう対話
- (5) 学びの自覚化を図る振り返りの場の充実
  - ・ 振り返り表の活用
- (6) 学んだことを事後の学習や生活に生かす取組
  - ・ 家庭学習や生活場面での取組

## 3 公開授業

### (1) 第2学年 「かけ算(3)」

2年生の授業では、「九九を使ってチョコレートの数を求めるにはどうしたらいいだろうか」という学習問題を解決していきました。授業者の濱田峻趣教諭は、子どもたちが自分で学習問題を立てることができるようにするために、既習事項で簡単に解ける図と本時の学習内容に係る図を提示し、既習事項とのつながりを意識させ、問題解決に取り組ませていました。子どもたちは、既習事項を生かしながら、ワークシートやタブレット端末を活用して、自力解決に粘り強く取り組んでいました。



【2年生公開授業の様子】

## (2) 第6学年 「比例と反比例」

6年生の授業では、「重さだけしかわからないとき、紙の枚数はどのように求めればよいか」という学習問題のもと、授業が展開されました。授業者の福山勇清教諭は、ロイロノートの提出箱共有機能を活用することで、子どもたちが友だちの考えをヒントに自力解決できるようにしていました。また、数学的な見方・考え方を働かせたいポイントで、効果的にペアでの対話活動を取り入れていました。子どもたちが主体的に学習に取り組む姿が印象に残る授業でした。



【6年生公開授業の様子】

## 4 分科会

分科会では、公開授業ごとに、ワークショップ型の研究協議が行われました。「学習課題の提示・見通し」「自立的・協働的な学び」「振り返り」という3つの視点について、参加者が授業参観で見取った子どもたちの姿の事実（子どもの発言や行動の様子、ノート等への記述内容等）に基づいて、活発な意見交換が行われました。出された意見を視点ごとにグルーピングし、小見出しを付けることで、ポイントをまとめていきました。子どもたちの学びの姿の背景にある教師の働きかけについても検証し、改善策を考えました。真剣な協議の中に、時には笑顔も見られ、充実した研究協議となりました。協議の最後には、各グループで出された意見を発表し、協議内容を共有することができました。



【分科会（2年）の様子】

	子どもの姿	教師の働きかけ	改善策
提示	きがる つば	ICT活用 ICT活用	協働的 学び
見通し		ICT活用 ICT活用	協働的 学び
振り返り		ICT活用 ICT活用	協働的 学び

【研究協議（6年）のまとめ】

### 参観者の感想から

#### 【研究発表】

- 研究発表は、とても具体的で分かりやすい発表になっていました。特に、児童が主体的に取り組めるような工夫がよかったです。
- 錦江小が2年間取り組んでこられた主体的に学習に取り組む姿を紹介していただけ、参考になることが多くありました。

#### 【授業】

- 仮説1の課題の提示の仕方や算数コーナーなどこれから参考にしていきたいです。（2年生）
- 学級の雰囲気がとてもよく、学習者（児童）1人1人が学習課題について考えることができている授業で、素晴らしいと思いました。（6年生）

#### 【分科会】

- どのグループも和気あいあいとした雰囲気で、楽しく振り返ることができました。
- 交流は目的をもってすることなど、今後意識していきたいです。